

特別講演



演題

心を理解し、いのちを活かす対話を求めて—
ホスピス緩和ケアにおける、スピリチュアルケア
の物語

講師：岡田圭氏 (Association of Professional Chaplains 認定チャプレン)

【講師プロフィール】ニューヨーク訪問看護サービス ホスピス緩和ケア
スピリチュアルケア・カウンセラー主任

1959年ニューヨーク生まれ、石川県金沢市育ち。上智大学外国語学部卒業後、1982年にロータリー財団奨学生として渡米、1984年よりニューヨーク在住。絵画専攻で美大卒業後、ダンサーたちとの舞台活動を経て、1993年、ユニオン神学校卒業後チャプレンの訓練を受ける。ニューヨーク・プレスビテリアン・コーネル大学医療センター小児科「エイズの子供たちのためのプログラム」クリニック、ハウジングワークス(HIVキャリアのホームレス療養施設)勤務を経て、2006年よりニューヨーク訪問看護サービス(Visiting Nurse Service of New York)ホスピス緩和ケアにてスピリチュアルケア・カウンセラー(チャプレン)として勤務。2015年よりスピリチュアルケア主任。専門チャプレン協会(Association of Professional Chaplains)の認定チャプレン。

ドキュメンタリーWAVE選「たそがれのニューヨーク」—(NHK2016)

「介護する人」の心の守り方、米国の地域ケアに学ぶ(日経電子版2014)

エキスパートに聞くスピリチュアルケアの醍醐味(緩和ケア2014)など

【日時】 2018年11月7日(水)16:30~18:00

【場所】 首都大学東京 荒川キャンパス 校舎棟4階 463(講義室12)

【定員】 30名(先着順) 参加ご希望の方は問い合わせ先まで
メールにてお知らせ下さい。【参加費】 無料

【問い合わせ先】首都大学東京大学院 人間健康科学研究科 看護科学域

東京都荒川区東尾久7-2-10 542号室 岡本有子 yokamoto-hs@tmu.ac.jp

主催：科学研究費補助金基盤研究(B)「がん末期患者と家族への専門看護師主導型地域包括ケアプログラムの臨床的有用性の検証」(代表：岡本有子、首都大学東京大学院)